

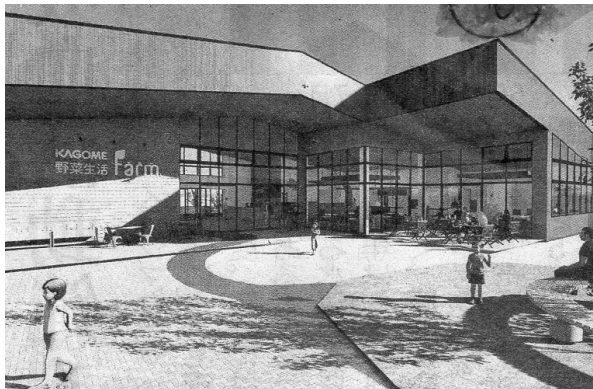
野菜テーマパーク着工

カゴメ、来春に開業

カゴメは野菜をテーマにした施設「カゴメ野菜生活ファーム富士見」（長野県富士見町）の交流棟の起工式を開いた。カゴメの三輪克行取締役専務執行委員は「農業や食、富士見町の魅力を感じてもらえる体験型の野菜のテーマパークができる。施設を通じてカゴメや地域のファンを増やしていきたい」とする。

野菜生活ファームでは野菜の収穫体験や、収穫した野菜を使った料理教室などが楽しめる。隣接する工場では、野菜ジュースの製造工程も見学できるという。

日本人の野菜摂取量が少ないことも踏まえ、テーマパークで野菜を身近に感じてもらう。交流棟にはレストランや野菜などの販売施設が入る予定。野菜生活ファームは来年4月下旬のオープンを予定している。



カゴメが来年4月にオープン予定の野菜生活ファームの交流棟（写真はイメージ）

成城石井、10店体制に

高級スーパーの成城石井は店内で調理した料理を店内で食べられる「グローサラント」を採り入れた店舗を拡大する。本格的な焼きたてのピザやホットドッグなどをメニューとして提供する。

10月にJR新浦安駅のビル内にグローサラントの2号店を開く。店舗の既存スペースの横に約20席の飲食コーナーを新設する。販売する食材を使ったピザやホットドッグのほか、持ち帰り用のローストビーフも販売する。

成城石井は2017年9月に東京都調布市の店舗で初めてグローサラントを始めた。ハンバーガーやピザをメニューとし、食材はほぼ全て店内で購入できるようにした。通常店では売れ行きが悪いハンバーガーのパンが月600個売れるなど、店舗内での飲食が食材購入につながる効果を確認した。

一日経 MJ2018.9.21ー

※フィリップ・ビゴさん死去

日本にフランスパンを定着させたフランスパン職人で、兵庫県芦屋市のパン店「ビゴの店」の創業者、フィリップ・ビゴ（本名・ビゴ・フィリップ・カミュ・アルフォンス）さんが17日、病気のため亡くなった。76歳。65年来日し、大手ベーカリー「ドンク」で技術指導するなどフランスパン普及に貢献した。「ビゴの店」は、関西有数の人気パン店として知られる。

ー毎日新聞 2018.9.18ー

――輸入小麦の政府売渡価格の改定について――

農林水産省は、「主要食糧の需給及び価格の安定に関する法律（平成6年法律第113号）第42条第2項」に基づき売り渡す輸入小麦の平成30年10月期の政府売渡価格を決定しました。売渡価格は（税込価格）で55,560円/トン、2.2%の引上げとなります。

平成30年9月11日 農林水産省

ハード・セミハード系小麦

アメリカ産ダーク・ノーザン・スプリング	主にパン・中華麺用	0.5%
カナダ産ウェスタン・レッド・スプリング	主にパン用	0.5%
アメリカ産ハード・レッド・ウィンター	主にパン・中華麺用	0.5%

ソフト系小麦

オーストラリア産スタンダード・ホワイト	主に日本麺用	6.1%
アメリカ産ウェスタン・ホワイト	主に菓子用	6.1%